



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神野 晴年

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 桑野 純也

TEL 03-5114-5800

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,454	12.7	0	—	2	—	△19	—
27年3月期第1四半期	3,065	△10.9	△205	—	△203	—	△142	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△4.14	—
27年3月期第1四半期	△30.36	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年3月期第1四半期	8,842	—	5,294	—	59.9	1,125.95
27年3月期	8,624	—	5,375	—	62.3	1,143.13

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,294百万円 27年3月期 5,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	7.8	450	—	450	—	200	—	42.53

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	4,703,063 株	27年3月期	4,703,063 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	448 株	27年3月期	448 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	4,702,615 株	27年3月期1Q	4,702,615 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の国内景気は緩やかな回復基調が続き、個人消費も実質所得の持ち直しや雇用情勢の改善に伴い、徐々に上向きの傾向を見せております。小売業界では、消費税率引上げの影響が一巡し、都市部の百貨店等では資産効果を背景とした消費意欲の高まりやインバウンド消費などにより、概ね好調に推移いたしました。

(直営店商品販売事業)

当事業における前年同時期は、主力のハウス オブ ローゼ直営店販売事業が消費増税前の駆け込み需要による「まとめ買い」の反動により厳しい状況となりました。特に既存客売上高が大きく減少いたしました。その影響が一巡した今期の既存客売上高は、前年同期比で23%増となり、前々年度の同時期も上回る売上高となりました。また、新客売上高は、広告宣伝を始めとする販売促進効果も寄与し、専門店店舗では前年同期比15%増の伸長となるなど、全体でも5%強の増加となりました。その結果、ハウス オブ ローゼ直営店販売事業全体では前年同期比17.1%増の売上高となりました。

またネット通販事業は、昨年11月から開始した自社ネット通販を中心に順調に推移し、売上高は前年同期比で75.2%増と大きく伸ばいたしました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、27億51百万円（前年同期比15.9%増）、営業損失53百万円（前年同期は営業損失2億40百万円）と着実に持ち直してまいりました。

(直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業（旧：リフレクソロジー事業）は、ベッドを利用したボディコースを拡充しつつ、リピート顧客の増加に注力した結果、顧客単価がアップし既存店売上高も増加いたしました。しかし退店による店舗数減少の影響により、全体の売上高は前年同期比4.9%の減少となりました。一方カーブス事業は、既存会員様の紹介による入会が増加、また「体力測定」等の施策も奏功し、会員数の安定的な増加と共に売上高は前年同期比2.6%の増加となりました。

以上の結果、当事業売上高は4億9百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は41百万円（同19.5%減）となりました。

(卸売販売事業)

個人オーナー向け卸売部門は、ハウス オブ ローゼ直営店同様に消費増税後の反動減の影響が一巡し、既存店に関しては徐々に持ち直してまいりましたが、退店に伴う店舗数の減少により売上高は前年同期を下回りました。一方量販店向け卸売部門は、既存店の伸長に加え、新規出店により店舗数も増加し、売上高は前年同期を上回りました。また、その他一般向け卸売につきましては、通販事業者向け売上を中心として大きく増加いたしました。

以上の結果、当事業売上高は2億93百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は11百万円（前年同期は営業損失17百万円）で黒字に転じました。

以上の結果、当第1四半期における全社売上高は34億54百万円（前年同期比12.7%増）と回復に向かっております。一方費用に関しては、業績回復に資するべく実施した各種販売促進策等により増加したものの、営業利益ベースでは前年同期から大きく改善し、営業利益4万8千円（前年同期は営業損失2億5百万円）と僅かではありますが黒字を確保し、前々年（第33期）同期比並みの売上高と利益を確保することができました。なお、税金等の計上により四半期純損失19百万円と赤字になりましたが、損失幅は大幅に縮小いたしました（前年同期は四半期純損失1億42百万円）。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より2億18百万円増加し、88億42百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より2億44百万円増加し、51億12百万円となりました。これは主に売掛金が2億34百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より26百万円減少し、37億29百万円となりました。これは主に無形固定資産（リース資産）が14百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より2億99百万円増加し、35億47百万円となりました。これは主に短期借入金が増加し、賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より80百万円減少し、52億94百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加し、繰上金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表（平成27年5月15日決算短信）に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228,670	2,103,347
売掛金	943,124	1,177,870
商品及び製品	1,525,681	1,656,930
その他	171,056	174,806
流動資産合計	4,868,532	5,112,954
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	407,466	403,532
土地	1,415,905	1,415,905
リース資産(純額)	77,485	71,610
有形固定資産合計	1,900,858	1,891,049
無形固定資産	130,150	115,563
投資その他の資産		
差入保証金	769,002	755,201
その他	955,522	967,529
投資その他の資産合計	1,724,525	1,722,731
固定資産合計	3,755,533	3,729,345
資産合計	8,624,066	8,842,299
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,132	409,421
電子記録債務	765,979	819,918
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	41,553	70,775
賞与引当金	185,747	318,780
その他	648,801	623,612
流動負債合計	2,130,213	2,442,507
固定負債		
退職給付引当金	918,526	927,829
役員退職慰労引当金	53,624	55,904
その他	145,999	121,171
固定負債合計	1,118,149	1,104,904
負債合計	3,248,363	3,547,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,105,949	4,015,963
自己株式	△428	△428
株主資本合計	6,322,424	6,232,438
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,395	58,565
土地再評価差額金	△996,116	△996,116
評価・換算差額等合計	△946,721	△937,551
純資産合計	5,375,702	5,294,887
負債純資産合計	8,624,066	8,842,299

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,065,075	3,454,160
売上原価	928,626	987,456
売上総利益	2,136,449	2,466,703
販売費及び一般管理費	2,341,889	2,466,654
営業利益又は営業損失(△)	△205,440	48
営業外収益		
受取利息	639	639
受取配当金	1,077	1,099
不動産賃貸料	494	438
その他	787	2,057
営業外収益合計	2,998	4,235
営業外費用		
支払利息	960	690
不動産賃貸原価	233	221
リース解約損	—	1,243
営業外費用合計	1,193	2,154
経常利益又は経常損失(△)	△203,635	2,130
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△203,635	2,130
法人税、住民税及び事業税	8,774	62,168
法人税等調整額	△69,619	△40,591
法人税等合計	△60,844	21,576
四半期純損失(△)	△142,790	△19,446

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。